各支部・分会を代表し代議員13名から39項目についての質疑！！

浜田列車分会
竹野内　慧

□組織課題について
□人材確保について
□乗務員区所の内勤業務の集約について
□総合運輸所化後の乗務範囲について
□運転取扱の変更について
□乗務員の要員需給について

鳥取支部
吉田　悠人

□連合鳥取派遣役員について
□共闘役員のフォローについて
□県中部への交通費について
□社会人採用者へのオルグについて

米子運転所分会
濱村　祐介

□要員について
□運輸部門における内勤業務集約について
□熱中症対策について

米子総合指令所分会
宮崎　琢己

□187系冷房装置について
□車両部品の管理体制について

鳥取列車分会
谷口　智

□車掌シミュレーターについて
□乗務員訓練について

出雲保線区分会
笠井　誠樹

□作業責任者手当について
□駐車場代について
□出雲保線区の事務所について

米子駅連区分会
飯塚　暁

□安全確保について
□組合加入活動について
□情報の共有について

浜田鉄道部分会
江角　明宏

□簡易IC対応について
□新規採用者の配属先について
□マルス端末の設置について

米子支部
井田　憲太郎

□米子駅の接続時間について
□要員と施策の検証について

米子車掌区分会
瀬田　徹

□サンライズ一人乗務について
□ジャパンレールパスについて
□新型やくものセミコンパートメントシートについて

米子保線区分会
熊野林　吉生

□職務遂行給について
□ベースアップについて

倉吉駅連区分会
山本　崇正

□インバウンド対象商品について
□自動改札導入について
□Qデスクと旅客指令の対応について

出雲支部
高橋　大介

□ローカル線の課題について
□労働協約について

総括答弁

書記長　亀山泰孝

代議員13名から39項目についての発言があった。個別については各部長より答弁があったため、私からは総括的な答弁をしてまいりたい。

一点目、安全確立に向けた取り組みについて

JR西日本グループ安全考動計画2027」の2年目となった。本計画も私たちの要求する内容が多く含まれており、この計画の実践と目標の達成に向けて実直に取り組みを進めていくことに変わりはない。しかしながら、すでに2件の死亡労災を発生させてしまうなど、安全に対する意識は向上しているものの、現状を看過できるものではない。今年度においては、本計画の検証アンケートを行う。各職場に組合員がおり、現場実態を最も把握しているのは我々西労組であり、この組織力を発揮し各級機関でこのアンケートの重要性を認識し回答を行うとともに、計画の実行度を向上させることで、本計画が実のあるものとなるよう取り組みを進めていかなければならない。伯備線触車事故・後藤総合車両所構内労災死亡事故を発生させてしまった当該地本として、安全に対しては妥協せず、より安全に働くことのできる職場環境の構築に向けて取り組みを進めていただきたい。

二点目、春闘について。

2024春闘においては、ベースアップの実施、年間臨給の支給額の回復、またこれまでの課題であった地上職の待遇改善を図るべく、各種手当の見直しや制度改正など、多くの改善を勝ち獲った。まさに皆さんの声が形になった春闘であった。しかし、依然として離職は多く、JR産業が魅力のある業界となれるような労働条件の向上により、環境変化が大きい中においても、JR西日本で働き続けたいと思える、またJR西日本で働くことを選択される企業にならなければならない。そのためには、まず、賃金実態調査の100%回収を目指して取り組みを行い、物価高騰にも負けないベースアップをはじめとした賃金改善、働き方や社会の変容から整合性の取れなくなっているエリア手当等の改善を求めていくことで、各級機関の全組合員の総団結により春闘を盛り上げて昨年以上の成果を目指そう。

三点目、地域活性化の取り組みと政治闘争について

芸備線において、再構築協議会が設置された。木次線においても、5月23日の支社長会見以降に、新旧支社長が関係市町に対して、今後の路線のあり方について協議を進めていきたい旨の説明を行っている。

山陰エリアはローカル線が多く、過去から沿線人口の減少、働き手の確保、地域交通のあり方と大きな課題に直面しており、先人たちはこれまでも様々な取り組みを行ってきた。我々も改めて現状から目を反らさず、公共交通がどうあるべきか、さらには地域がどうあるべきか、という視点で積極的に活動を起こしていかなければならない。また、それらの課題解決には政治の力は必要不可欠であり、議員との連携は欠かせない。方針で確認いただいた推薦候補の必勝に向けて、各級機関の役員と全力で取り組むことを要請する。今後もJR西日本の社員として働き続けることを念頭に、地域に必要とされる存在であるよう取り組みを進めていきたい。

四点目、組織課題について

社会人採用が始まり、加入行動については、多くの苦労を掛けている。しかしながら、組織率をはじめとした今の状況は、国鉄改革時の混沌とした状況から、諸先輩方の努力により今の西労組とJR西日本があることを忘れてはならない。決して、今の状況が当たり前なのではなく、先人たちと我々がこれまで課題解決に取り組んで、議論を積み重ね、それらを繋いできたからこそ、今の組織があると考えている。だからこそ、今大会では、次世代にこれまで諸先輩方が紡いでくれた組織を残していくためにも、財政に関わる非常に大きな課題に対して提起をさせていただいた。今後行う職場討議の中では、地方本部がその先頭に立って議論を積み重ねていく覚悟である。

最後に、本定期大会において各代議員からいただいた発言を踏まえ、課題解決に向けて全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げ地本を代表しての総括答弁とさせていただく。

【今後の予定】

9/28	9：00～	第12回ソフトボール大会
10/2	10：00～	書記長・組織部長会議
10/2	11：00～	教育・情宣・文化レク担当者会議
10/2	13：30～	本部対話集会

《重要》ろうきん手集め金の取扱いが変わります！！

※手集め金とは休職等で賃金控除出来なかったものの手集めの事

各支部・分会で対象者から手集めを行っていましたが、今後は対象者のろうきん個人口座から引き落としする方法に変更となります。

米子地本機関誌コンクール

優秀賞

BE-TEN　NEWS【米転分会】

特別賞

工務新聞
【浜田工務分会】

WEST UNION いずも
【出雲支部】